

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ



題字 黒野清字

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 鈴木正男
 幹事 釜谷健一
 会報委員長 松島孝彰

No. 17

真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

Act with Integrity Serve with Love Work for Peace

1995~96年度 RI会長 ハーバート・G・ブラウン

きょうの例会

第640回 平成7年11月14日(火)

委員会報告 和田ロータリー財団委員長
地区大会報告

先週の記録

第639回 平成7年11月7日(火)曇のち雨

ガバナー公式訪問

◇“君が代”

“我等の生業”

◇今月のお誕生日祝福

鈴木(理)君(11/7)、伊豫田君(11/14)、加藤君(11/14)、二村君(11/16)、松居君(11/25)

◇ビジター紹介 3名

◇出席報告

会員 68(67)名 出席 56名
出席率 83.58%
前々回 10月24日(修正出席率) 100%

◇ニコボックス

豊橋 RC ガバナー 石川 和昌氏 クラブ訪問にまいりました。

秋山 茂則君 今日の佳き日はガバナーの我がクラブへの訪問日。

待ちに待ったその日です。ようこそガバナー大歓迎。

小山 雅弘君 久々にちょっといい事がありました。

水野 民也君 地区大会に孫(ヒロミ)が交換学生として出席します。ありがとうございます。地区大会には出られませんが京都法然院にて藤戸を誦みます。

第2760地区石川和昌ガバナーをお迎えして。

舎人 経昭君 夫人誕生日。お母さん有難う。

津牧 孝臣君 第2760地区石川和昌ガバナーをお迎えして。早退します。

渡辺 辰夫君 第2760地区石川和昌ガバナー

をお迎えして。結婚記念日祝い。

松居 敬二君、鈴木 理之君 第2760地区石川和昌ガバナーをお迎えして。誕生日祝い。

足立 一成君、浅井 誠寿君、堀江 宏輝君、池田 隆君、今西 功一君、釜谷 健一君、河村 政孝君、菊池 昭元君 小林 明君、小坂井盛雄君、黒野 貞夫君、三輪 康君、三好 親君、水野 賀續君、永井 正義君、中根 三郎君、成田 良治君、西村 禎二君、岡島 常男君、大口 弘和君、太田 茂君、鷲谷 龍男君、佐久間良治君、笹野 義春君、鈴木 正男君、田部井良和君、竹内 真三君、谷口 優君、和田 正敏君、鷲野 義明君、吉田 節美君 第2760地区石川和昌ガバナーをお迎えして。

宮尾 紘司君 夫人誕生日祝い。

二村 聡君、伊豫田博明君、加藤 大豊君 誕生日祝い。

石田 耕嗣君、大谷 和雄君、上野 保君、魚津 常義君 結婚記念日祝い。

松島 孝彰君 夫人誕生日祝い。結婚記念日祝い。

◇釜谷幹事報告

1. 本日例会終了後、クラブアセンブリーを開催致しますので理事役員、各委員長は百合の間にお集まり下さい。

2. 年次大会11/11(土)出席義務者の方登録12時、11/12(日)大会参加者9時登録です。お間違いの無いようご出席下さい。

3. 12/6(水)年末会員家族懇親会、今週締め切りとなって居りますので、まだ返事の無い方多数ご参加お願い致します。

4. ロータリーの友11月号が来て居りますので、お帰りにお持ち下さい。

◇鈴木(正)会長挨拶

深まりゆく秋、日一日と街も紅葉に美しく染まりゆく今日この頃です。

さて、本日は第639例会、ガバナー公式訪問の日であります。

第2760地区ガバナー石川和昌殿には、我が名古屋千種ロータリークラブへ本日ここにご訪問賜りましたこと、会員一同を代表いたしまして心から歓迎申しあげます。

只今より、石川ガバナーのご講話を拝聴することといたします。

時間の制約がございますので、以上簡単ながらご挨拶といたします。

◇第2760地区 石川 和昌ガバナー講話



今日ここへ参りました一つの大きな任務はRIブラウン会長の三つのテーマの持つ意味、ブラウン会長のご方針についてお話をし皆様にご理解を賜わろうと思っております。

ロータリーは年々変化しています。特に目立つことは世界的に女性の進出が著しいことです。今年度は女性のガバナーが初めて8名誕生し、ご主人を伴ってニースの世界大会に出席されました。現在世界で120万余のロータリアンのうち女性会員は約5万7,000人率にして5%弱。日本では800人程で1%に過ぎず、愛知県地区ではまだ30名程ですが、少しずつ女性を受け入れるクラブができて、私共のクラブでも先日1名の女性が入会されました。これからは女性会員をクラブへ入って頂くためにはどうしたらよいのかを十分お考えを頂き、更に楽しいクラブになるようにして頂きたいと思えます。

また、以前は旧社会主義の国々や旧ソ連ではロータリーは一切シャットアウトでしたが、最近ではどんどん設立されていて、ニース大会では国旗が間に合わず国名だけ紹介されるという一幕もありました。そういう意味では文字通りロータリーは世界のロータリーになったという感じを受けます。

また変わったことといえば出席の問題ですが、我々はロータリーにとって出席は大切だとずっと教えられてきましたが、本年の規定審議会でもメイクアップを1週間以内から2週間以内に緩和する案が通りました。

この延長の理由については、「ロータリーは年々発展する為、活性化を図られなければならない。その為には若い力が必要である。若くて有能で、しかも多忙な人達に入会して頂

く為にメイクアップ期間を延ばして入会しやすいようにする」ということですが、世界の流れがこういう方向に進んでいると認識しなくてはなりません。

今年度のテーマは「真心の行動・慈愛の奉仕、平和に挺身」の三つです。去年のテーマに比べ若干分かりにくいようですが、よくブラウン会長のお話を聞きますと、「真心の行動」の第一の目的は会員増強にあるということにあります。組織というのはそのままにしておくと肥大化してまいります。そういう点で活性化を図るために増強が必要となります。アメリカでは年々クラブの数は増えているが、ここ数年会員数が減少しています。また、世界のロータリークラブで、一クラブ当たり会員50名以下は54%を占め、いつ消滅しても不思議ではない25名以下は27%になっています。いざれにしても量か質かという事については絶えず議論が付きませんが、ブラウン会長は何事も数がものをいう。量か質かではない。量が質を創造するものだといわれております。幸いこの地区では大変ご理解を頂いて、現在既に150名程増えています。今後とも会員増強にご協力を。

第二の「慈愛の奉仕」は、ポリオプラスの事です。私もこの問題は既に解決したと思っておりましたが、未だに世界のどこかでポリオにより幼い子供の命が失われています。ロータリー創立100年の2005年にポリオ撲滅宣言をしたというのがRIの悲願であります。今後更に世界のロータリアンの理解と協力を基に地球上からポリオを完全に無くすことがブラウン会長の真意であり、私達もこれに応えなければならないと存じます。

「平和に挺身」については、現在も世界のどこかで戦火が絶えないのをブラウン会長は憂えて、ロータリアンが戦火に入る事はできないが、まず身近な問題から始めようという事で、家庭が平和であるべきとっておられます。家庭が平和であれば、その住んである町も平和になるであろう。町が平和であれば、その地域も平和になる。地域が平和ならその国が、その国が平和なら、世界も平和になる…。先日ブラウン会長から「2月第2週を家庭と地域社会を大事にする週間にしましょう」というお手紙を頂きました。従ってまず皆さんは自分の家庭を大事になさって、平和に挺身して頂きたい。

3つのテーマはそれぞれ意味があり、全て動詞で始まっています。ぜひ皆様には行動をとってほしいということを言われている訳です。

私としましては、今この時代にそって「簡素」、組織のスリム化を皆さんに申し上げております。組織というものはすぐに肥大化してしまう為、その都度見直しが必要です。ロー

タリーは一年の任期の為、その間会長さんが中心となり、時には思いきり、時には一度休んでみる、という事が必要であると思えます。その一例として、今年度の地区大会でのゴルフ大会をやめてしまいました。そのかわり、立派で簡素でさわやかな大会をモットーに、大会二日目にはご存知の通り石原慎太郎さんにお越し頂き、講演をして頂くことになっております。心温まる大会を目指し、東海ロータリークラブの皆さんが、頑張っておられ、当クラブの皆様には多数ご登録を頂き、御礼を申し上げます。

私もロータリーに入会させて頂き、数多くの先輩方から教えを賜りましたが、その中から1つ披露して最後に致したいと思います。ご存知の方もありませんが、岡崎の教育大学の学長をなさった内藤PGがこう言われました。「皆さんがロータリーに入会された時、今までにした事もない様な事をやらされたりしますが、それを決してマイナスと考えないで下さい。必ずプラス志向に考え、一生自分の修業道場としてお考え下さい。」それまで私も若干ロータリーに対し偏見を持っていましたが、ロータリーの意義もそういう面からとらえますと、新しい面も出てまいりました。いろいろ申し上げましたが、どうぞ皆さん今年の会長さんのテーマに沿って「楽しく、生き生きと和やかに」クラブ例会をなさって、後々こういう楽しい事があったんだ、と思える様な素晴らしいクラブ運営をなさして下さい。

~~~~~ 会長・幹事懇談会 ~~~~~

11:30~12:25 橋の間

例会前に、ガバナー・会長・副会長・会長エレクト・幹事による懇談会が行われました。

/////////////////////// クラブアセンブリー /////////////////////////

13:30~15:30 百合の間



例会終了後、理事役員、各委員長によるクラブアセンブリーが開催されました。

ガバナーが所属される豊橋RCや他クラブの例を混じえて一つ一つ丁寧にご指導下さり、私達一同貴重な時間を持つことができました。

お知らせ

名古屋短期大学付属高等学校インターアクトクラブの新役員が10/26(木)の例会で決まりました。今後共ご支援よろしくお願い致します。

会長	石川 愛	2年生
副会長	森 綾	2年生
幹事	堀尾 政世	1年生
会計	山邊 文	1年生
理事	中谷留美子	2年生
"	大橋かほり	1年生

◇10月度理事会議題 (10/31)

1. 新入会員候補者承認の件
2. 植樹(猫ヶ洞)の件
3. 福祉アカデミー協会 絵画展の件
4. 新入会員候補者の件

----- ロータリーワールドより -----

ロータリー財団月間:

平和に挺身を実証する機会

動乱や戦争で破壊された多くの国で、ロータリー・クラブや地区は救済物資の提供に活躍しています。それと同様に重要なのは、モザンビークのような血生臭い内乱から立ち直ろうとしている国において、ロータリアンは、しばしば、ロータリー財団からの援助を受けて、救済の手を差し伸べていることです。

財団から\$16,500の同額補助金を受けて、ポルトガル(第1970地区)とブラジル(第4570地区)のクラブは、モザンビーク(第9250地区)のベイラ・ロータリー・クラブと提携して、この東部アフリカの国において早魃と戦争によって全てを失った子供たちや避難民に食事や避難所、学校教育、職業訓練などを施すプロジェクトを実施しています。

平和を育む努力こそ、ロータリー財団が全ロータリアンの支持に値する理由の一つです。ロータリー財団月間には、広範囲におよぶ財団活動および個々のロータリアンが直接参与できる機会についての認識を全クラブ会員に植え付けて下さい。

◇例会変更のお知らせ

- 名古屋空港 RC 11/27(月) 4 RC 合同例会の
為、ホテルキャッスルプラザ
にて18時より
- 豊山一城北 RC 11/28(火) 4 RC 合同例会の
為、ホテルキャッスルプラザ
にて18時より

◇次回例会 (11月21日)

講演 “今年のプロ野球界”
東海ラジオ アナウンサー
犬飼 俊久氏

(紹介 宮尾君)

家庭および社会への ロータリーの献身

「ロータリーの鼓動」とも言える社会奉仕は、長い間、ロータリアンとロータリー・クラブにとっての中心的関心事項であり続けてきました。一層複雑化しつつある新たな問題が私達の社会を苛んでいる今日、私達は、私達の努力を検討し直さなければなりません。

地元の公園の清掃などといった、社会の「無難な」ニーズを超えて、家庭内暴力、ギャング、子供の虐待および放任、その他の無視されがちな複雑な問題に対処する、ロータリーの活動が必要とされています。私達が、社会奉仕プログラムを現実的に評価するなら、私達の社会は、これまで行ってきた社会奉仕プログラム以上のものを必要としており、私達にはそれ以上のものを実行する能力があることに気がきます。

まず、社会の基本的構成要素である「家庭」から対処し始めようではありませんか。今日の家族は、いくつもの複雑な問題に包囲されています。世界の多くの場所で、厳しい経済的困難が、家庭を破壊し、罪の無い子供達を路上の危険な生活に追いやっています。子供のことを案じ教育にいそむ親達でさえ、麻薬、ギャング、暴力などが子供達の生活に与える影響を阻止することの困難さに直面しています。

家庭を強化するためにロータリー・クラブにできることはたくさんあります。まず、地域社会に、人間としての普遍的な価値観の重要性を植え付け直す活動から始めることです。その最も基本的な価値観のひとつは、他の人達への思いやりです。これは、模範を示すことによるのみ教えることのできる価値観です。しばしば、大人としての生活では、家族のニーズを犠牲にして、個人としてのニーズ

を満たすことに集中してしまうことがあります。誰かが私達に関心を示してくれた時のみに、私達はその人に関心を持つという態度が身に付いてしまいました。今日の見捨てられた青少年や、その不幸な家族にとって、ロータリアンは、「関心を示してくれる誰か」となることができるのです。お互いに愛し合い、尊敬し合うように、また、目標を設定してその達成に向けて努力するようにと子供達を教育すれば、人生の重要な要素となるこれらの価値観を、後の世代にも伝えて行くことができるのです。

そこで、明白な事実として浮かび上がってくるのは次の点です：

- 社会の基本的な構成要素である家庭は、その構造が崩壊されつつあり、複雑な社会的かつ経済的問題と化しつつあります。
 - 家族構成の崩壊は、一方では、社会の機構を脅かしています。
 - ロータリーの長年にわたる社会奉仕への献身を考えれば、ロータリアンにとって、今日の家庭の危機に積極的に対処していくことは必至の課題となります。
- よって、世界中のロータリアン、ロータリー・クラブ、地区は、次のことを実行するように奨励されています：
- 家庭内暴力、子供の虐待／放任、ホームレス、薬物とアルコールの濫用、ギャング活動、託児所の必要、失業などといった、今日、家族が直面している最も手ごわい問題を解消するために力を合わせる事
 - 家庭、学校、世界中の地域社会に、人間としての普遍的な価値観の重要性を実感させること
 - 家庭を強化し、社会にとって安定した錨の役割を担う新プロジェクトの着手、または、現行のプロジェクトの継続